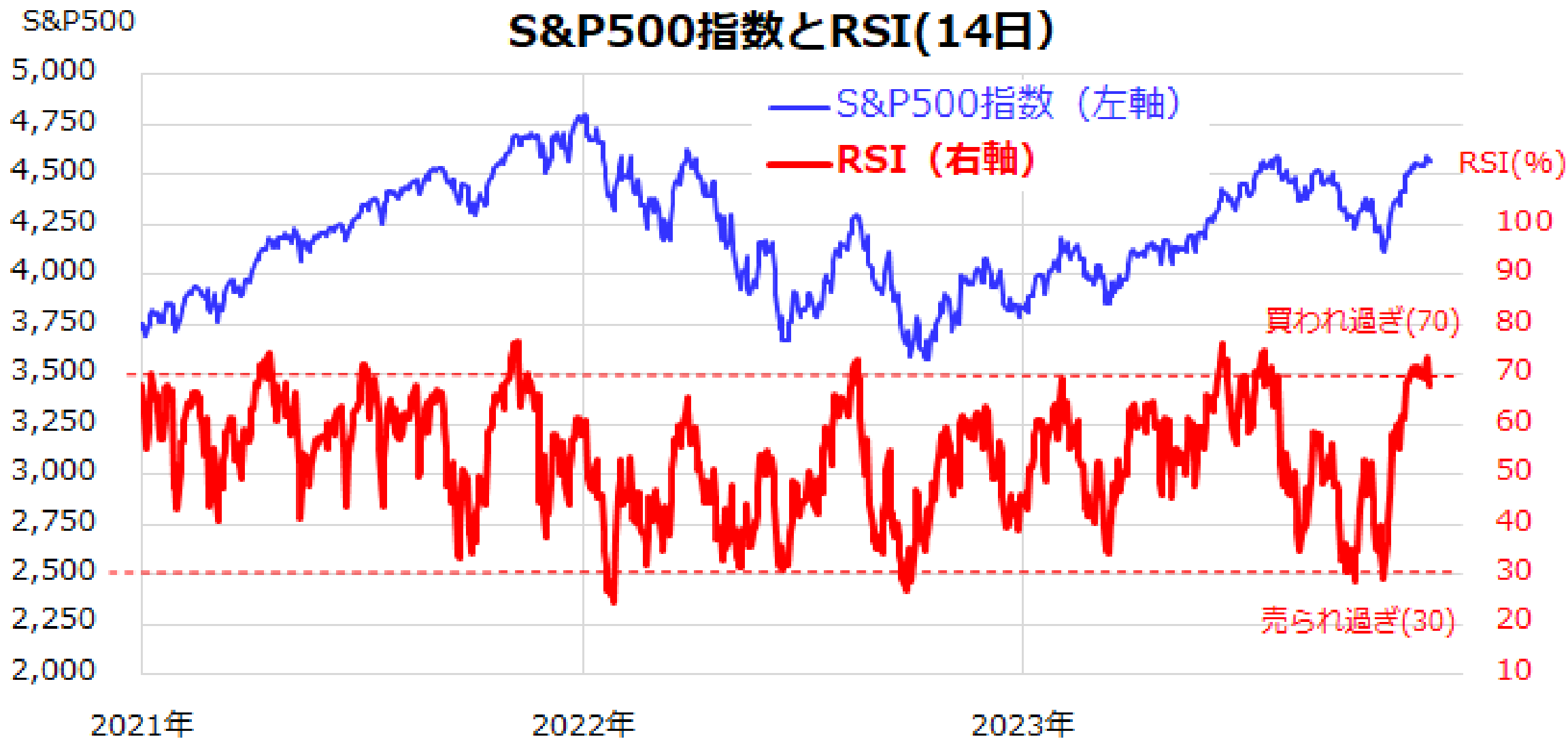


S&P500の復調にやや過熱感も



2024年の米国株見通し：S&P500の行方は？

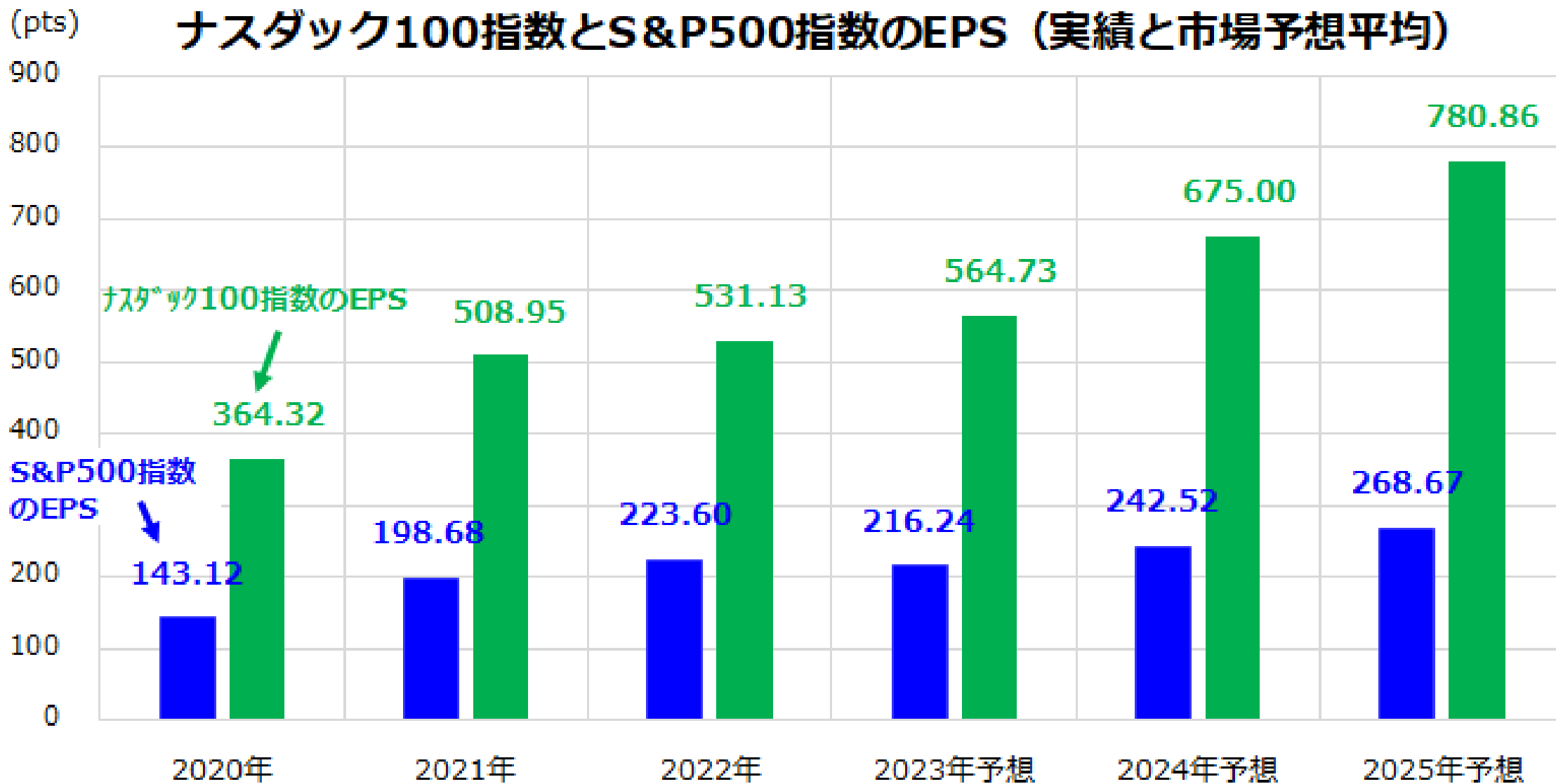
(ポイント)

S&P500指数と2024年の想定シナリオ



- ①米景気は第4Qに減速し始め24年前半にソフトランディング（軟着陸）する、②FRBは当面政策金利を据え置くがインフレ減速や労働需給緩和を確認し24年央までに利下げに転じる、③債券市場の長期金利は低下もしくは安定する、④AI（人工知能）を中心とするデジタル革命進展を期待した大手テック株が（2023年ほどでなくとも）堅調を続ける

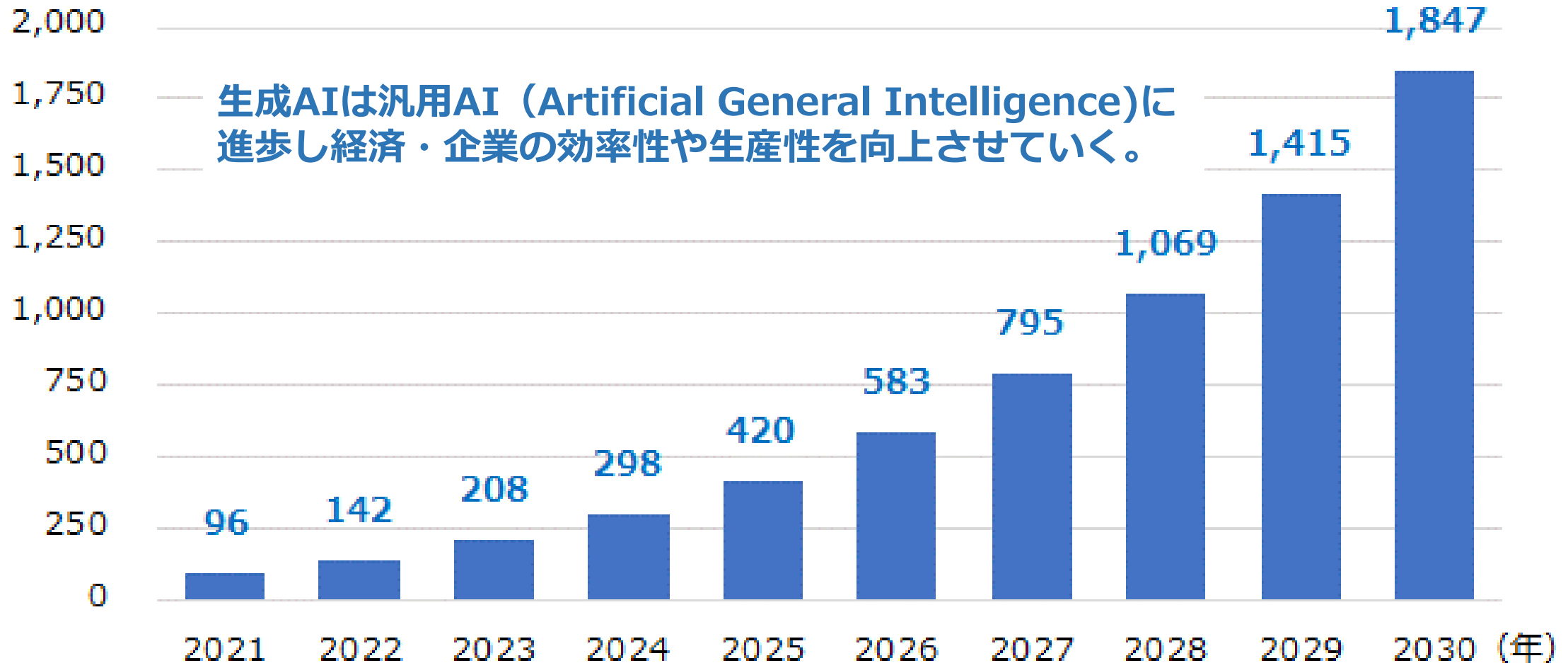
企業業績の成長期待が鍵を握る



AI（人工知能）市場は急成長が見込まれている

(10億ドル)

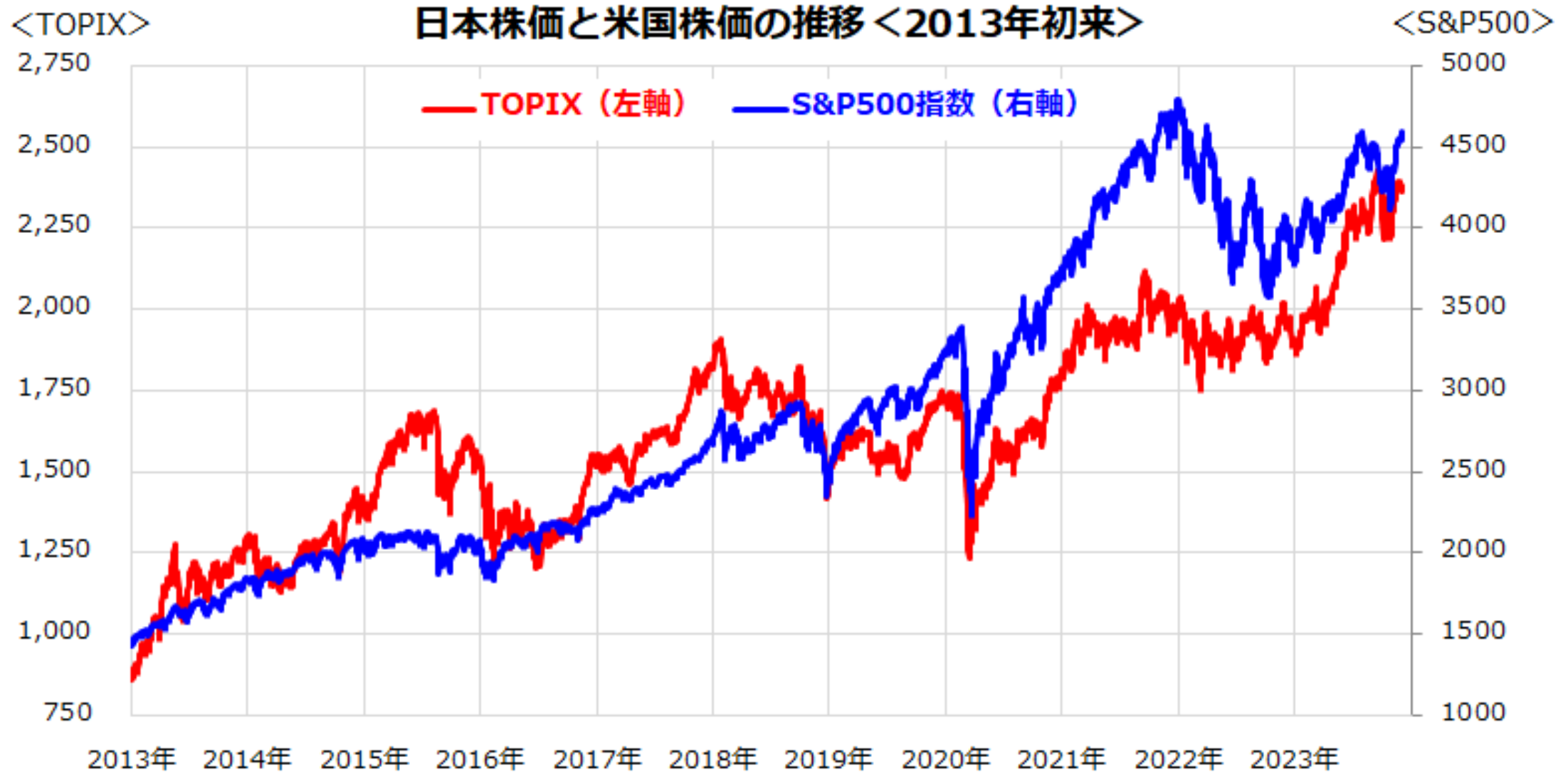
世界のAI市場規模（売上高）の推移と予想



2024年のリスクシナリオ

#	潜在的リスク	警戒されている不確実性の概略
1	金利再上昇リスク	インフレが加速しFRBの金融引き締めは強まるか。債券金利が再上昇するとバリュエーション悪化を介してグロース株を中心に株式が下落する可能性あり。
2	景気後退リスク	金融引き締めの累積効果で米国経済は景気後退に追い込まれるか。米地銀の経営破綻を発端にした信用収縮（法人融資や消費者融資の減退）に不安あり。
3	地政学リスク	ウクライナ戦争長期化に伴う世界経済への影響。ロシア軍による戦術核兵器の使用。中東情勢の緊張に伴う原油相場の上昇加速。朝鮮半島の緊張など。
4	ワシントンリスク	上下両院議会のねじれで債務上限問題が再燃しかねない。2024年11月の大統領選挙に向けトランプ前大統領が優勢になると市場が揺れる可能性がある。
5	中国リスク	不動産不況や雇用情勢の悪化で中国の景気回復がとん挫するか。習近平総書記による強権政治の影響。米中経済対立激化の余波。台湾海峡での有事リスク。

日本株と米国株の相関性は高い



(出所) Bloombergより楽天証券経済研究所作成